

第469回 番組審議会

1. 日 時 平成23年11月15日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 11名

出席委員 9名

委員 長 清野 雅子

副委員 長 千葉 幸長

委員 望月 善次

委員 福田 泰司

委員 坂本 修

委員 池田 克典

委員 吉江 信博

委員 平 英一

委員 遠藤 雅也

欠席委員 2名

委員 柴田 和子

委員 鈴木 正之

社側出席者 矢後 勝洋 (代表取締役会長)

檜崎 憲二 (代表取締役社長)

石井 修平 (専務取締役)

淵沢 行則 (取締役報道制作局長)

菅野 智 (営業局長)

事務局 山信田 寧 (編成技術局長)

畠 義真 (編成技術局編成部長)

平山 亜希子 (編成技術局編成部主任)

4. 議 題

1. 11月6日（日）午後4：55～放送「わんだふお～シルバーライフ」
2. その他ご覧になった番組についてのご意見

5. 資 料

資料として以下のものを配布

- ・ 視聴者からのご意見

6. 意見

委員側意見

○被災者が多く登場していたが、皆さん笑顔がすばらしく被災者の心身の復興を象徴していた。

○高齢者中心の番組で、さわやかにしあがっていた。震災後の番組としては、さらりとさわやかに見られて、テンポもよく非常によかった。

○体操が最後にあったが、ある程度時間やプログラムがあるかとおもったらすぐ終わってしまい、もう少し充実した内容にしてほしかった。

○シルバーライフは支えあうことが不可欠だと思うが、とてもよかった。カメラワークも良く、県民にとっても、シルバー層のすごさを知ることができたのではとおもう。

○80歳以上のなぎなた3人娘のパワーがすごく、前向きで凄いと思った。シニアの希望の星で被災地に本当の元気やパワーを与える。

○主旨を前提に見た場合、ねんりんピックにこだわりすぎた。県民一般や、若者への意義付けとは思いますが、比重が大きすぎた。

○今回紹介したみなさんがスポーツを楽しんで生き生きとしているが、高齢で障害があったりしてスポーツができない人もいると思う。4回分のテーマを提示してもらえれば、高齢者に関心を持ってもらえたのではと考える。

○宮古や大船渡の津波被災地からの参加者の取り上げ方は妥当で、高齢者という切り口からは若干ずれたかと思うが、仲間とのふれあいとかが良かったとおもうし、被災地からの参加者が「気持ちを切り替えるチャンスがほしかった」と言っていたのが実感だと思う。

○高齢者が健康で過ごしていることに「芸術だ」とすら思い、感動的だった。なぎなたの人たちがよかった。岩手の人だけでなく、全国の人をふるいたたせたと思う。

○震災の影響などでいままでやってきたスポーツを中断せざるを得ない人もいると思うが、またはじめようと気持ちが少し前に進むような内容だった。

○ゲートボールチームやマラソンランナーの人たちが津波に遭いながら仲間を支えられたといった内容よりも、ねんりんピックを通してのスポーツと健康についての番組に徹してほしかった。

テレビ岩手側意見

○この番組は高齢者の健康と心身を考える広報番組で、1回目は「ねんりんピックを」という依頼で制作した。

○今回のほか、心身の健康を考える、趣味、生きがいを考える、被災地の心身の健康についてがラインナップだが、初回放送時にはそれが決まっていなかったため、次回以降の内容は入れられなかった。

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、関連部署に議事録を配布するなど関係者に審議の内容を伝えた。

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

・自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」

平成23年11月25日(火) (午前11時45分～11時52分放送) で、審議の概要を放送。

・支社・支局に議事録を設置

・当社のインターネットのホームページで議事録を公開